

FDセミナー（2021.6.18）
学生の学びに繋がる「新しい対面授業」

教養科目における事例紹介

フィードバック/グループワークの実践例と教育効果



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

大学教育センター

ヘルスプロモーションサイエンス学域
保健体育科目担当

准教授 西島 壮

□ 担当科目

- ✓ 保健体育科目 実技（身体運動演習・スポーツ実習） 講義（身体運動学, 27名）
- ✓ 教養科目（スポーツ・健康と脳科学）
- ✓ 人間健康科学副専攻コース専門科目（応用神経科学）

（ほか）

□ フィードバック、グループワークを重視した授業計画

- ✓ 2019年度以前から課題のフィードバックは重視
- ✓ 2020年のオンライン授業の経験から**グループワークの教育効果を痛感**
- ✓ グループワークの進め方・コツの紹介（体育実技の経験を活かすことができた）

□ 独自の学生アンケートの結果の紹介

昨年度の経験から

□ 2020前期 保健体育科目（実技・身体運動学）を担当

- ✓ 手探りでオンライン授業（zoomを用いたリアルタイム型）を開始
- ✓ 学生が「学生間の交流」に飢えている（孤独を感じている）ことを痛感
 - ⇒後半からブレイクアウトを活用（保健体育科目としては正当？）
 - ⇒**授業を犠牲にしても「学生同士の交流の機会」を提供したい**
- ✓ 思わぬ教育効果が！！

□ 2020後期 教養科目を担当

- ✓ **毎授業、グループワークを取り入れる**

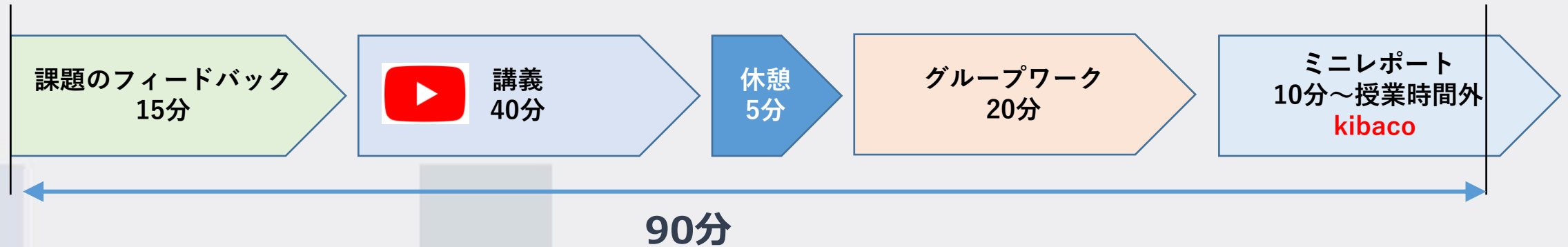
“グループワークが予想よりも効果があったというのは生徒側としての意見としても賛成である。やはり**その日に感じたこと考えたことを共有することによって考えがより強固になっていくという喜び**を感じることができた。”

“グループワークをメインとした授業形態だったので、**受講する前はどうなるものかと不安**でした。しかし、グループワークで積極的に発言することの重要性が身に染みて体験することができたし、それによって**ただ講義の内容を聞くだけ以上に内容を理解して実践することができた**と思います。”

“オンライン授業をやる機会がこの先にはないとは言えないので、もしまたやることがあったらこの**授業体制はとても刺激的で面白いので続けて欲しいし、他でも増えると良い**と思う。講師の先生も大変なのはわかるけど、**ずっと連続でパソコンと向き合い、90分堅い話を聞く学生も想像以上にきつい**。アンケートなどをやってもなかなか意見が反映されることは現実として難しいから期待できないけどここで伝えたい。”

授業の実施方法

□ 2020後期 教養科目（スポーツ・健康と脳科学）



□ 2021前期 保健体育科目（身体運動学、講義）



2021 前期身体運動学 第7回レポート抜粋

- スポーツの中に音楽や美術がはいることにびっくりしました。
- スポーツが運動以外のものまで入るのが意外だった。もしかしたら歌うことなども、スポーツ庁が考えるスポーツに入るのかなと思った。
- もしかしたら ● スポーツも一種のスポーツであるのかな、と思った。
- オリンピックのシンボルマークを何度も目にしてきたはずなのに、いざ書こうとすると色の配置が全く分からず、書けなかった自分に少しショックだった。
- 小3の頃、出国でオリンピックが開催され、そこで五輪を覚えていたが、まさか手を挙げた人は私しかおらず恥ずかしかったです。
- 普段、何気なく言っている「オリンピック」が Olympic Games というもので、あくまでオリンピック・ムーブメントの一部であることに驚いた。開催の有無が騒がれ、それによる経済的損失ばかり注目されてしまいがちだが、その根底にあるオリンピズムの考え方、スポーツに対する見方に触れられて良かった。
- SNSで選手にオリンピックの参加をやめるようにコメントしたり、人々の健康が害される可能性があったりと、まったく“平和”とは言えない状況に日本はあるのではないか。これをオリンピックと呼んでよいのか、とても疑問である。
- 今まででは体育とスポーツの違いなんて気にしたことがなかったけど、今日の授業でスポーツについて改めて考えたことでスポーツの概念が変わり、体育とスポーツはイコールではないんだと納得した。
- 昔から体育は苦手だがスポーツをするのは好きで、こういった考えはおかしいのかと思うことがあったが、体育とスポーツは別物と知れて、自信をもって「スポーツが好きだ」と言えるようになった。
- 中学では上手にできない子を追いつけてやらせる体育、高校では生徒が主体となって、先生はそれが上手に回るようにサポートしてくれる体育だった。
- 学校の体育祭や普段の体育で、ミスをする生徒からも非難されてしまうことがあり、それをおそれてスポーツをしなくなるという人も少なくないのかなと思った。
- 学校の体育の授業で、みんなの前で実技テストをやらされるのがとても嫌いだった。ペーパーテストで98点取っても、実技ができないため評価が5段階評価で3がついてしまう友達もいた。実力を評価され、他人と比べられながら運動する「体育」が私は好きになれなかった。しかし体を動かすことは大好きで、“人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするために、自分のペースで楽しむ”「スポーツ」が大好きである。
- 私の高校には浪人生用の補習科があり、学校で受験勉強に励むとともに、高校生と同じように体育の授業を行っていた。勉強だけでは必ずストレスがたまるし、息がつまってしまう。身体だけでなく心の健康のためにも体を動かすことは不可欠だから、補習科では体育もやるんだよ」と、体育の先生が言っていた。
- “スポーツの可能性”であったり、“人間の可能性”というものは固定観念で決められたものではなく、考え方や見方を変えたりすることで無限に広がっていきけるのだろうと、今日の授業で考えさせられました。
- 私は今までバスケットボールをする中で、競技に打ち込んでいる時と普段の自分は全く違う性格だと感じている。バスケットをしている時の方が、なにかと勇気を持ってたり、積極的になれたり、相手のことを考える時間が長かったりと、普段の自分よりも好きな自分だ。
- 西島先生が何度も「大学の体育をとって欲しい」「高校までの体育と大学の体育はちがう」と熱く語っていたので、今年度、身体運動演習を受講しました。・・・スポーツが上手くない私にもチームメイトが教えてくれて上達したり、チームワークを向上させていったり、スポーツ本来の楽しさをやっと感じることができた気がします。
- 運動に対して苦手意識があり、前向きな気持ちを持ってない(自分のような)人は、どのようにスポーツや運動と向き合ったらよいか疑問に思った。

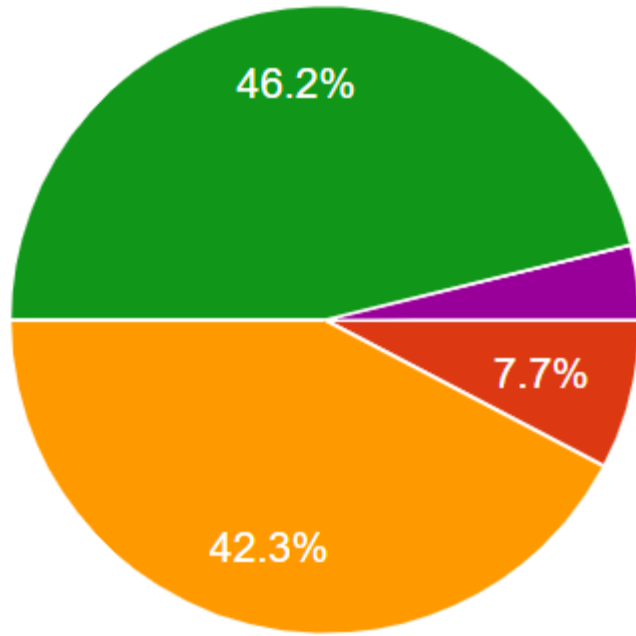
ミニレポートを一部抜粋 (A4、1ページ)

- ✓ 先週の授業内容・要点の振り返り
- ✓ 誤った理解の修正
- ✓ 質問への回答
- ✓ 多様な意見・考え方・感想を紹介
- ✓ 授業内容を踏まえた応用・展開

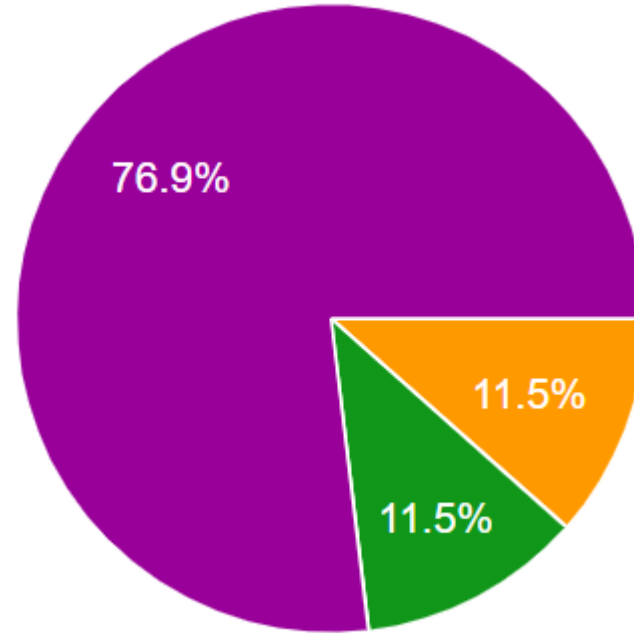
準備時間：受講者27名規模で1時間程度（採点・評価を含む）

課題のフィードバックに対する満足度

履修している全ての科目



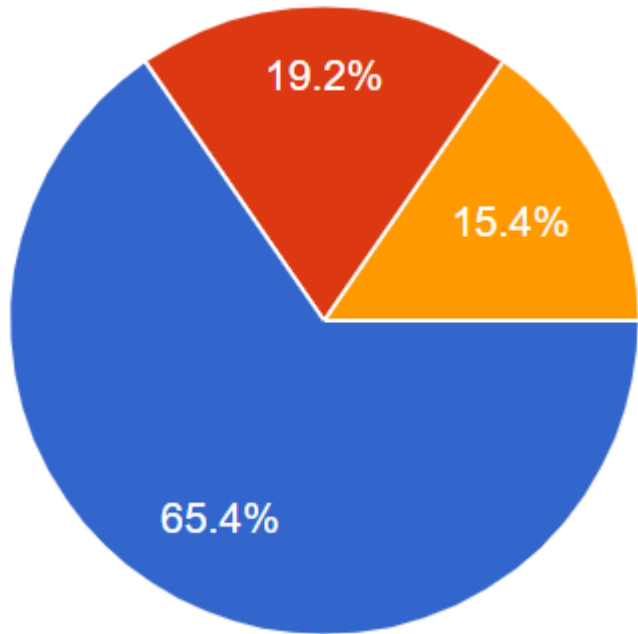
身体運動学 (2021)



- 1. 全く満足していない
- 2. あまり満足していない
- 3. どちらともいえない
- 4. 少し満足している
- 5. 大変満足している

“毎回コメントを抜粋して読み上げ、前回の授業と絡めてコメントして下さるので**理解がより深まった**。他の人のコメントでは、**自分にはなかった着眼点や体験談を知ることが出来る**のでとても有意義な時間だった。自分の課題に対して全体でフィードバックされる時に、良いリアクションをもらおうと**モチベーションも上がった**。”

課題のフィードバック方法：採点結果の通知



- 授業内に紙で提出（採点結果のフィードバックはなくても良い）
- 授業外にkibacoで提出（採点結果をフィードバックして欲しい）
- 授業内にkibacoで提出（10分あれば、紙で提出するのと同じかそれ以上の質のレポートを作成できる）

課題（10分間）

どんな学びがあったか、自身の考え・意見をまとめる。
（メッセージを伝える）

kibacoで提出

- ・ メリット：採点結果の通知が容易、FB資料の作成が容易
- ・ デメリット：授業時間内での提出困難？
別の方法で出席を確認する必要あり

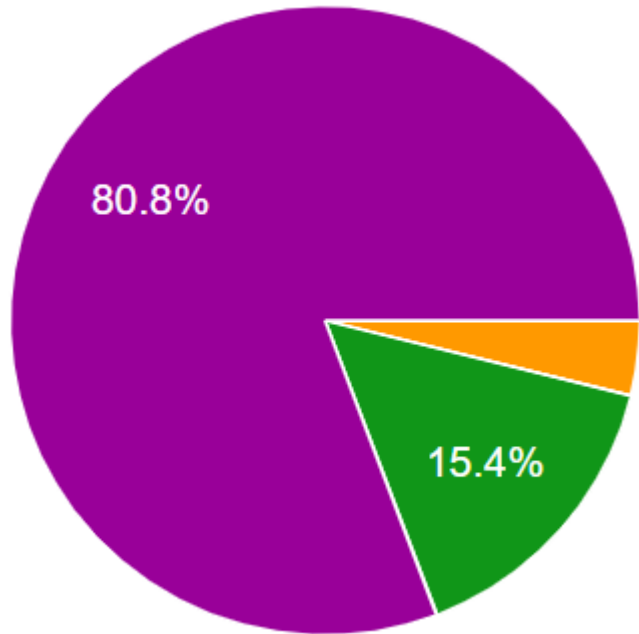
答案用紙で提出（本授業で採用、“授業内での提出”を優先）

- ・ メリット：授業時間内に回収できる（出席確認を兼ねる）
自由な（率直な）意見・感想が聞ける
- ・ デメリット：採点結果の通知が困難

“点数がわかればモチベーションに繋がる”

“その場で紙に書いたほうが、自分の考えたことを書き出しやすい。”

講義パート（実施方法）の満足度



- 1. 全く満足していない
- 2. あまり満足していない
- 3. どちらともいえない
- 4. 少し満足している
- 5. 大変満足している

懸念

講義時間を短くした（2019年度以前は65～70分の内容を40～45分）
ため、詰め込みすぎ・早口となり、理解度が下がるのではないかと？

【去年は動画を見返すことができた！！】

“もう少し、講義の時間を増やして多くの知識をとりいれたかった。”

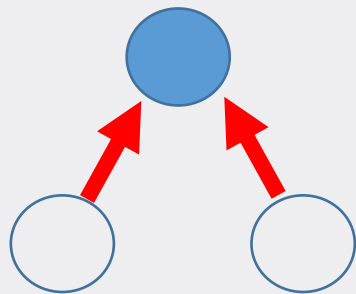
“あまり早口だなとも感じずペースよく進んでいていいと思います。”

“もし早口、飛ばしの説明になってもスライドを印刷した紙が配られるのであまり問題はない。”

“最後にグループワークがあることで受け身な姿勢で授業を受けることなく積極的に授業に参加している実感を得ることが出来ている。”

グループワークの進め方（全体で15～20分）

- 1グループ3～4人、クジで座席指定
- アイスブレイク（自己紹介）



- ✓ 1人2分（慣れたら1分）
- ✓ 他のメンバーの質問に答える
- ✓ 雑談、大歓迎

1	9	25	33	41	57		
2	10	26	34	42	58	65	
3	11	27	35	43	59	66	
4	12	28	36	44	60	67	
5	13	29	37	45	61	68	
6	14	30	38	46	62	69	
7	15	31	39	47	63	70	
8	16	32	40	48	64		

- 課題はオープンクエスチョン（都立大生は“正解”を求めたがる！？）
例）「ぐっときたポイントの紹介」⇒「これまで・これからの私とスポーツ」

□ グループワークのコツ

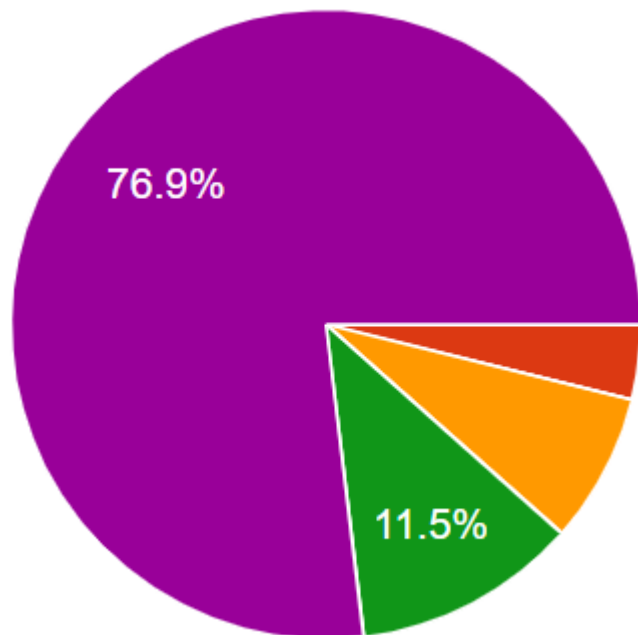
- ①リーダーシップ < フォロワーシップ
- ②PLAYを大事に（遊ぶ、楽しむ、**役割を果たす、演じる**）
- ③目標はその**空間・時間の幸せの最大化**
 - ×業績第一の「ブラック企業体質」
 - ×全て適当な「ゆるブラック企業体質」

- ④Noblesse Oblige:グループワークが得意な人には責任がある
- ⑤私、グループワークは結構できる！（苦手じゃない）

※全体でカメラオンにしてからブレイクアウトスタート

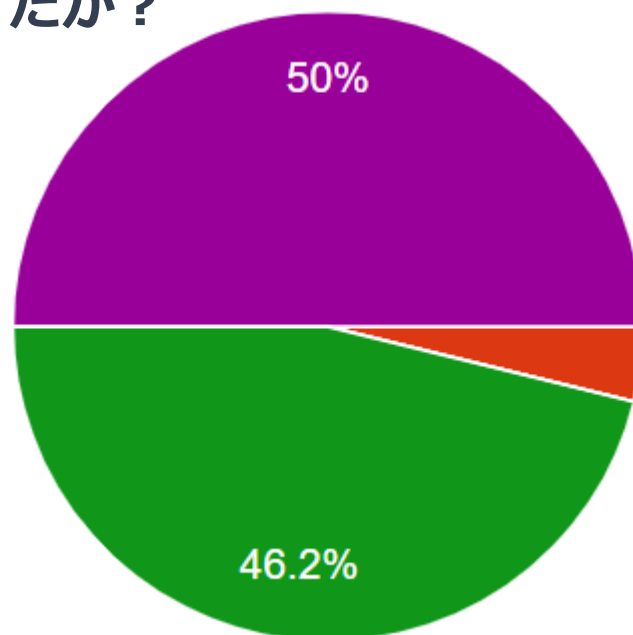
グループワークの満足度・教育効果

満足度



- 1. 全く満足していない
- 2. あまり満足していない
- 3. どちらともいえない
- 4. 少し満足している
- 5. 大変満足している

授業内容の理解度は深まったか？



- 1. 全くそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらでもない
- 4. そう思う
- 5. 非常にそう思う

「あまり満足していない」と回答した学生
“話し合いをもう少し長くしてもいいかも”

「そう思わない」と回答した学生
“グループワークを通して、初対面の人と話すのが少し慣れてきたように感じる”

“グループワークにより、講義の理解がさらに深まると共に、自分では気づかなかったところに気づけるのでとても好きです。”

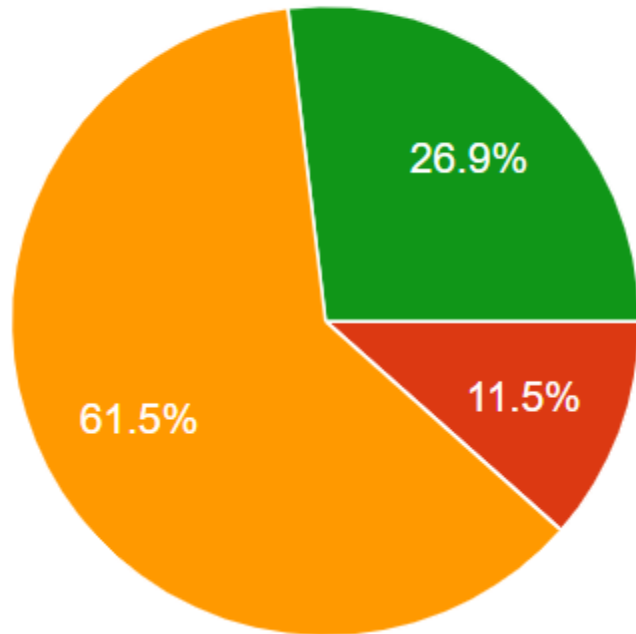
“講義で知ったことで驚いたこととかを共有できたのは楽しかった。”

“授業内容だけではなく学校生活の話題にも触れることが出来たので良かった。”

“グループワークこそ大学教育の醍醐味ではないのか。”

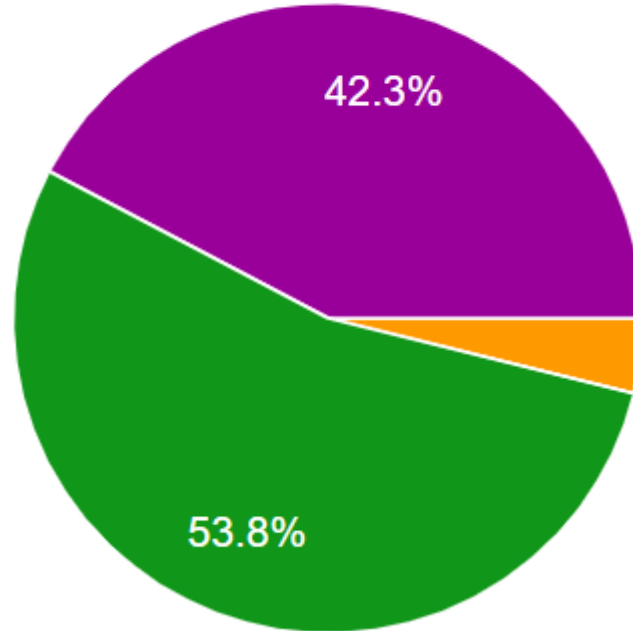
グループワークの実施方法について

実施時間は適切だった？



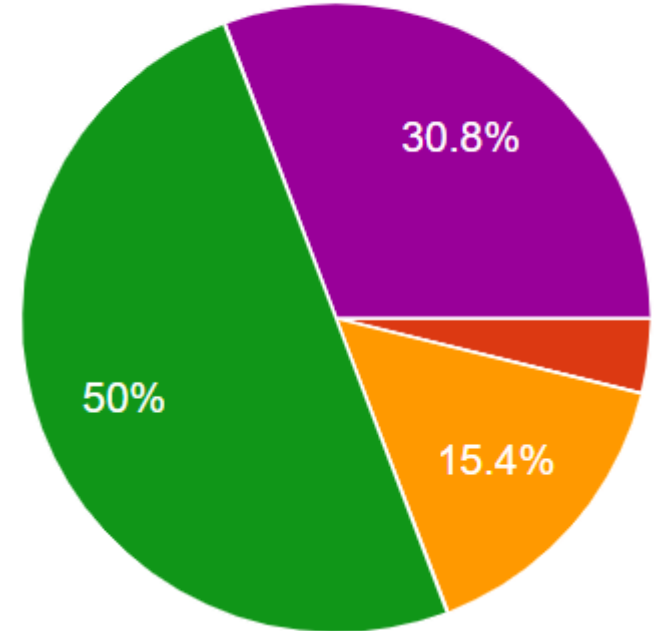
- 1. 非常に短い
- 2. 少し短い
- 3. ちょうどよい
- 4. 少し長い
- 5. 非常に長い

アイスブレイクはグループワークを円滑にした？



- 1. 全くそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらでもない
- 4. そう思う
- 5. 非常にそう思う

“グループワークのコツ”は役に立った？



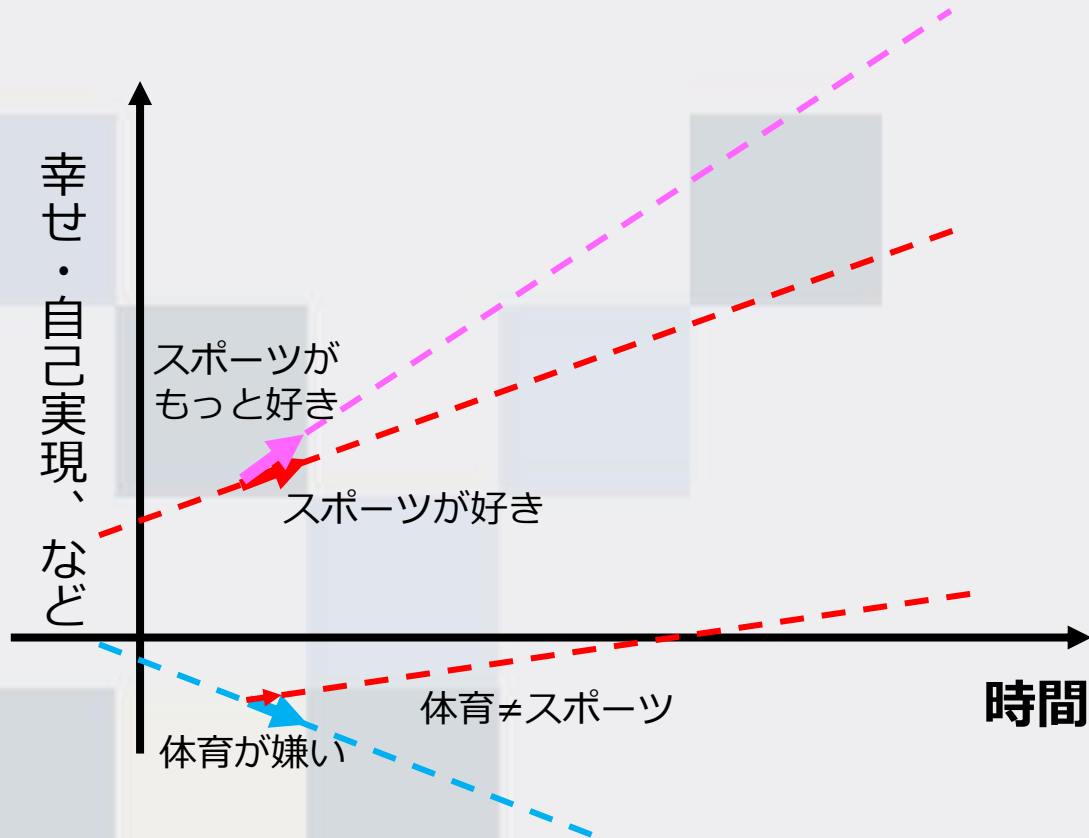
- 1. 全くそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらでもない
- 4. そう思う
- 5. 非常にそう思う

教養科目担当者としての心構え（私見）

心に新たなベクトルを

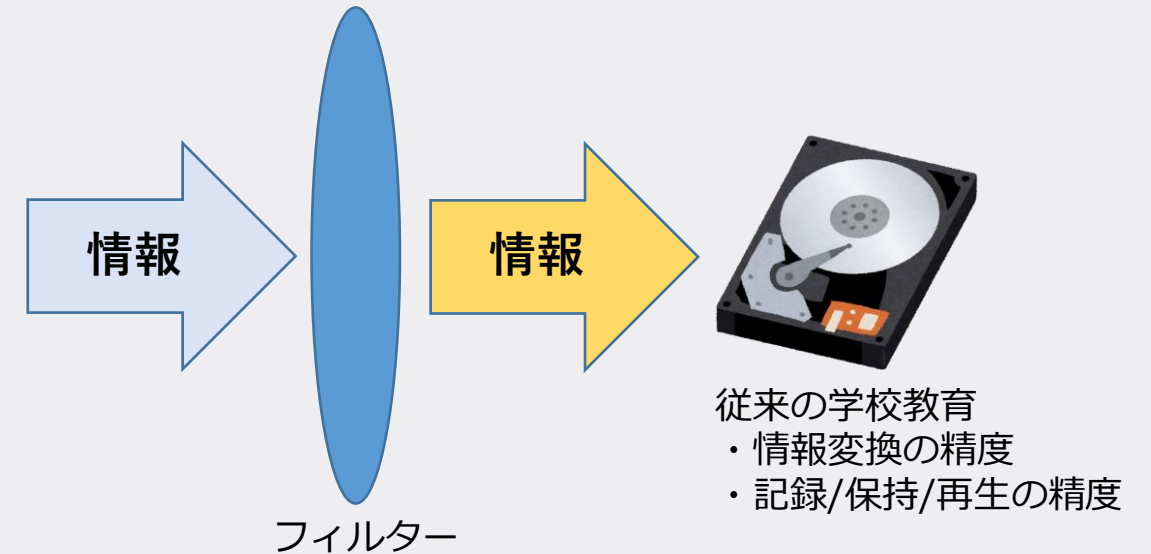
×知識を詰め込む、正解を教える

- ①新しいベクトルが生まれる
- ②ベクトルの向きが、より良い方へと修正される



心に新たなフィルターを

- ・心のフィルターは人によって異なる（個の多様性）
- ・より良い／新しいフィルター獲得できれば



この2つの達成には、
フィードバックとグループワークは
欠かせない（強力なツール）

2021身体運動学の履修生27名



先生方の今後の授業計画の参考となれば幸いです

資料：課題のフィードバックについて

- ✓ すべきだと思う
- ✓ ミニレポートには、ほとんど授業の感想を書いているので、そもそもフィードバックは必要なのかわからない。
- ✓ フィードバックを見る真面目な学生が少ないので欲しい人は自分で先生に聞けば良い
- ✓ 特にはないです。
- ✓ ある程度きちんと述べてくれると嬉しい
- ✓ 書く内容の自由度が高く様々な角度から課題について深く見つめることが出来る
- ✓ 授業内で完結するのが1番
- ✓ たくさんの人の意見を聞けていいです。
- ✓ フィードバックはあったほうがその後の授業に活かせるので、有れば嬉しいです。
- ✓ フィードバックがあった方がモチベーションも上がるのでフィードバックはあった方がいいです。
- ✓ その場で紙に書いたほうが、自分の考えたことを書き出しやすい。
- ✓ kibacoでの課題提出にフィードバックがあるのは嬉しいこの授業のような課題であれば、授業内で提出して次の授業で共有してくれるという今の方法が好き
- ✓ 採点式の課題であれば、足りていないところや、十分なところに関してのフィードバックが欲しいです。
- ✓ 点数を知りたいが、出し忘れが不安なので紙提出の方がいい。
- ✓ 点数よりも内容を共有しあいたい。この授業は特に。
- ✓ 点数がわかればモチベーションに繋がる
- ✓ フィードバックがない授業や、全員まとめてフィードバックする授業が多いので、それに比べるとモチベーションが上がっていいと思う。
- ✓ レポートを書いた時には採点結果というよりも出したレポートへの先生の感想や直すべき点を知りたいです。
- ✓ 点数を見える化した方が今後の自分のためになると思う。
- ✓ 課題に対して、少しでもレスポンスがある方が、自身のフィードバックもより良いモノになると思う。
- ✓ 授業内でフィードバックできることは私にとってはやりやすかったです。
- ✓ 考える問題ではなく、解答のある問題はきちんと解説していただいたほうが理解できます。
- ✓ 課題のフィードバックは特に必要ないと思う。
- ✓ 毎回コメントを抜粋して読み上げ、前回の授業と絡めてコメントして下さるので理解がより深まった。他の人のコメントでは、自分にはなかった着眼点や体験談を知ることが出来るのでとても有意義な時間だった。自分の課題に対して全体でフィードバックされる時に、良いリアクションをもらおうとモチベーションも上がった。今まで自分が提出した課題がどのように評価されているか気になるので、点数は知っておきたいという気持ちがある。
- ✓ 特になし
- ✓ モチベーションにつながるので、手間かもしれませんが採点結果を教えてほしかったです。

資料：講義パートについて

- ✓ このまま続けてほしい
- ✓ 講義の早さはちょうどよい。講義の進め方も興味を引くもので、面白いと感じた。スライドを用意して映してくれるので、講義が面倒だと思わない。
- ✓ 斬新で大変良いと思う
- ✓ 席とグループをランダムにすることで同じ人となることを減らすことで、多角面での視点を共有しやすくしていた。
- ✓ 話し合いをもう少し長くしてもいいかも
- ✓ 中高で学んだ内容も多かったがそれらをより深く、より身近に捉えることが出来て非常に良かった
- ✓ 毎回違う人とかがかわれるのは楽しい
- ✓ あまり早口だなとも感じずペースよく進んでいていいと思います
- ✓ グループワークが多いことがとてもいいと思います。自分の意見だけでは、進まないこともあるけど、他の人の意見を聞くことで、わかることもたくさんあるからです。
- ✓ わかりやすいし、動画とかも見せてくれるので印象に残りやすいです。
- ✓ 意見交換の機会が多くておもしろい。
- ✓ たまに聞かれながらの場面もあるので考えて受けることが出来て良かった
- ✓ 一つ一つのテーマについて深く掘り下げ、問題の根本を考えさせてくれる授業方法なので、とても満足して受けられています。
- ✓ わかりやすかった。
- ✓ もし早口、飛ばしの説明になってもスライドを印刷した紙が配られるのであまり問題はない。
- ✓ 生徒とのやり取りを所々で挟み、授業に集中して取り組めた。
- ✓ 授業の時間が短い分集中力が続いて良いと思う。
- ✓ わかりやすい授業進行だったと思います。
- ✓ 最後にグループワークがあることで受け身な姿勢で授業を受けることなく積極的に授業に参加している実感を得ることが出来ている。
- ✓ スライドが若干見にくいときもあったが、基本的には特に問題なくやれた。
- ✓ しっかりと説明を受けることが出来て満足しています。
- ✓ スライドを使用し、先生の体験などの具体例を交えながら講義してくださったので非常に分かりやすかったです。身体やスポーツや病気などに対する考え方の幅を広げることが出来ました。
- ✓ もう少し、講義の時間を増やして多くの知識をとりいれたかった。
- ✓ 一方的に知識を教えるのではなく、「そもそも」に着目して先生独自の視点から物事を考えることができ、新たな発見や学びの繋がりを実感を持って体験することができた。
- ✓ とてもよいと思う。
- ✓ レジユメが詰め込みすぎて字がつぶれていたのは、後で見るときに不便だなと思いました。

資料：グループワークについて

- ✓ いいと思う
- ✓ 他の人の意見を聞くいい機会だと思ってる。自分では思いつかなかった意見や、同じ物事に対して別の考え方があることを知ることができた。
- ✓ コミュカが鍛えられて良いです
- ✓ 特にはないです。
- ✓ 他者の意見が聞けて嬉しい
- ✓ その日学んだことをより深く考えられるだけでなく他学部の人
の考えも聞くことができ非常に楽しい時間でした
- ✓ グループワークが無かったら関わらないと思うので嬉しい
- ✓ 普段関わらないであろう人とも関わられてよかったです。
- ✓ 問6でも書きましたが、自分の意見だけでなく、他の人の意見や
考えを知れることがとても良いと思いました。
- ✓ 色々な人と毎回話すことができるので、自分とは違う意見が聞
けて楽しいです。
- ✓ その都度グループのメンバーはくじ引きなので、学科も学年も
違う人たちと話が出来るのはとても良い。おもしろい話し合
いでできていると思う。
- ✓ 講義で知ったことで驚いたこととかを共有できたのは楽しかっ
たし、それぞれが元々知っていたことや疑問をお互いに知れた
のは面白かった
- ✓ グループワークにより、講義の理解がさらに深まると共に、自
分では気づけなかったところに気づけるのでとても好きです。
- ✓ 他学年、他学科の方と話せて楽しかった。
- ✓ グループワークこそ大学教育の醍醐味ではないのか。
- ✓ コロナが少し怖くはあるがグループワークは充実しており楽し
かった。
- ✓ この授業のグループワークを通して、初対面の人と話すのが少し
慣れてきたように感じる
- ✓ 他学部の人と話せたりさまざまな人の違った視点からの意見が聞
けてたのしかったです。
- ✓ 何回かグループワークをしたが1回も話が途中で終わって無言の
時間になるなどということがなく、授業内容の理解も深まってと
てもよかった。
- ✓ フォロワーシップを学び、リーダーの時もそうでない時も自然と
グループワークに参加できた
- ✓ 自己紹介があったことで学年や学科などを把握でき、授業内容だ
けではなく学校生活の話題にも触れることが出来たので良かった
と思います。
- ✓ ディスカッションの時間を多くとってくださったので、一つの問
題に対して自分で考えたり他人の意見を聞いたのはとても良かっ
たけれど、少し時間が余ってしまうこともありました。
- ✓ いくつかの意見を聞くことでさまざまな視野を持つことができ
いいと思う。
- ✓ 学部や学年、性別ごとに考えが異なり、その異なった考えを持つ
人同士で話すことで毎回新たな発見があった。授業内容の理解を
深めるということもそうだが、現在対面で授業を行っているのが
1週間でこの授業とあと1つしかないので、このグループワークの
時間が他の学生と交流する貴重な時間となっており、とても有意
義だった。
- ✓ アイスブレイクをしてもあまり名前が覚えられないため（覚える
努力はしている）話を振りにくい。ただ、ないよりはあった方が
気楽（ガチガチにならないという意味で）に感じた。
- ✓ 最初に自己紹介の時間が確保されているのはとてもいいと思った。